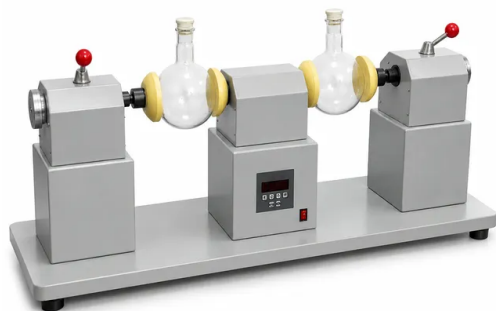


石炭・ズリ崩壊反転試験機

商品番号: KT-TE53



前書き

この石炭・ズリ崩壊反転試験機で、ズリの劣化を正確に評価します。規格準拠設計により、精密な40 rpmの回転、自動サイクル追跡、および安定したPT100温度モニタリングを備えており、信頼性の高い実験室での沈殿物およびスラリー崩壊分析を実現します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
選炭・前処理	湿式処理回路に入る原炭ズリ岩の崩壊指数と劣化率の定量化	超微細スライムの予期せぬ蓄積を防ぎ、オペレーターが濃縮機の容量、凝集剤の投与量、および水回収システムを最適化できるようにします。
テールダム・地盤安全	降雨や水理学的飽和にさらされた石炭ズリ山の崩壊傾向と風化挙動の特定	長期的な法面安定性、ダムの液状化リスク、および物理的沈降特性をモデル化するために必要な重要な劣化データを提供します。
環境修復研究	埋め戻し、路盤安定化、および表面貯蔵中の、廃石からの微細シルト（10 μm未満の粒子）の放出評価	高リスクの溶出および懸濁しやすいズリ層を特定し、環境エンジニアの効果的な流出制御および土壌安定化戦略の設計を支援します。
冶金用コークス評価	コークス炉装入前の、石炭フィード内の炭質頁岩と鉱物不純物のテスト	浮遊選鉱の回収を妨げ、精炭濃度の純度を低下させる可能性のある過剰な粘土の崩壊と鉱物の分散を特定します。
学術・地質研究	標準的なアンドレアセンビペットプロトコルに基づく、粘土の膨潤性、泥岩の分散、および堆積岩の劣化に関する基礎的な鉱物学的研究の実施	学術論文、地質学的分類、および標準試験の開発に向けて、再現性のあるベースライン値をもたらす厳格に標準化された試験条件を保証します。
鉱山埋め戻し・建築材料配合	埋め戻しパイプライン内の動的なスラリー移動を受ける粗大ズリ骨材の機械的劣化のテスト	輸送中の骨材の崩壊を特定することにより、パイプの摩耗の可能性、スラリーの流動的变化、およびセメント系結合の耐久性を評価します。

仕様パラメータ	値 / 特性
モデル商品番号	KT-TE53
規格準拠	MT/T 109-1996 (石炭・ズリ崩壊試験方法)
スピンドル回転速度	40 r/min (水平軸反転)
回転速度安定性	標準負荷下での定常駆動
サンプル容量	100 g ドライサンプル (5.6 mm～2.8 mmの初期粒度区分)
液体キャリア量	500 mL 蒸留水または試験水
試験容器適合性	専用のすり合わせガラス栓付き洗浄瓶
標準反転時間	通常30分 (プログラム可能/タイマー付き)
下流粒子分離	500 μm (0.5 mm) 金網ふるい & アンドレアセン沈降法 (<10 μm)
温度測定範囲	0.0 °C ～ 90.9 °C

仕様パラメータ	値 / 特性
温度センサータイプ	高精度PT100白金測温抵抗体
温度測定精度	±0.1 °C
温度制御精度	±0.2 °C
補助温度制御電力	1 kW
駆動モーター出力	10 W
機器総消費電力	< 10 W (駆動動作時)
ディスプレイタイプ	産業用LEDデジタルディスプレイ
リセット機構	手動リセットまたは自動起動リセット
主電源	AC 220 V ± 10%, 50 Hz ± 1 Hz
動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲相対湿度	≤ 80% RH (結露なきこと)
機器全体寸法 (L × W × H)	400 mm × 400 mm × 860 mm
機器総重量	約 20 kg